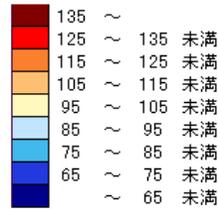
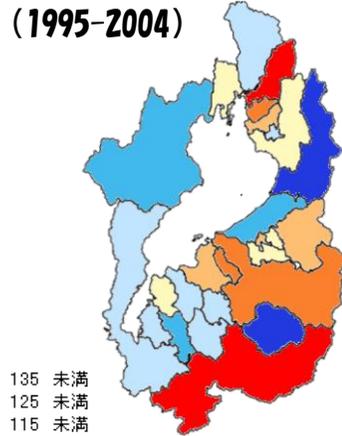


# 図1-14-1 高血圧性疾患（男性）

EBSMR  
(2007-2016)

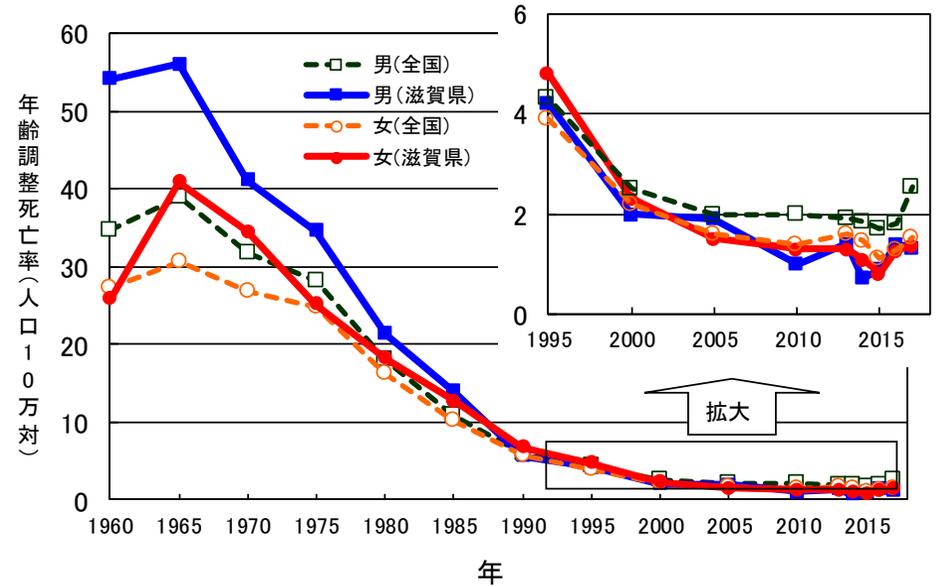


X<sup>2</sup>検定(2007-2016)  
全国と比較

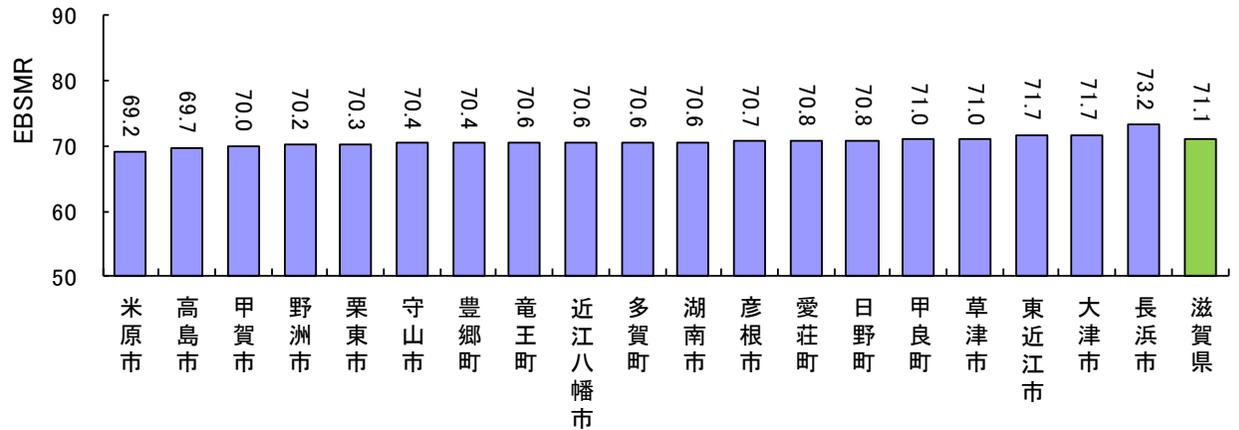


有意に高い(p < 0.01)  
有意に低い(p < 0.01)

年齢調整死亡率

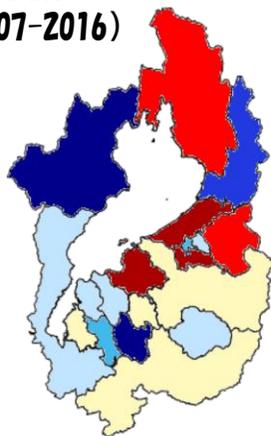


EBSMR  
(2007-2016)

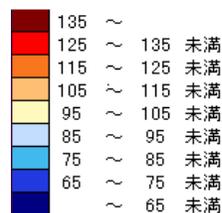
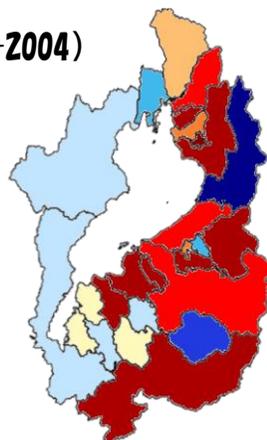


# 図1-14-2 高血圧性疾患（女性）

EBSMR  
(2007-2016)



(1995-2004)



高血圧性疾患の県のSMRは、男性、71.1、女性102.7で、男性は全国より有意に低い。X<sup>2</sup>検定では女性の彦根市、近江八幡市が有意に高い。

(※SMR:標準化死亡比<全国=100>)

X<sup>2</sup>検定(2007-2016)  
全国と比較



有意に高い (p < 0.01)  
有意に低い (p < 0.01)

EBSMR  
(2007-2016)

